

# 学校だより 11月号

発行日 令和7年11月4日  
北の台中学校長

学校教育目標 「美しい人」  
重点目標 「自分で考え自分で決める」～ウェルビーイングの向上を目指して～

幸運は準備された心にのみ宿る

ルイ・パスツール（フランス）

ノーベル化学賞受賞の北川 進 京大特別教授の子供たちに伝えたい言葉

2学期は行事が目白押し。特に今秋は、暑い日が多く、10月になってもまだまだ汗ばお陽気が続きました。合唱祭のあとは、中間テスト。そしてその日から体育祭へ向けての準備が本格化しました。

中間テストが終わった日の午後、各団の団長と3年副団長に校長室に来てもらい、これからの取り組みに向けての「思い」を聞く好機に恵まれました。青団団長は勝ちにこだわる意気込み。黄団団長は夏休み前から作戦を考えており、2連覇へむけた強い思い。赤団団長は勝負もさることながら、体育祭全体を盛り上げていきたいと語ってくれました。各団副団長はそれぞれの団長をサポートしつつ、下級生が困らないように支援をしたり、「楽しかった」と思ってもらえるような活動にしたりしたいと話してくれました。私からは、「主役は生徒。自分で考えて決める活動になるようにしてほしい。」と話しをしました。

翌週からは練習が始まりました。練習が少しでも早く開始できるようにと、各団長、副団長は周囲に声掛けをします。昼休みには校庭で集まり、学年種目の練習に勤しむ人たちの姿が日に日に多くなっていました。

体育祭本番や練習期間、それぞれが自分の役割を責任をもって活動していくことができていました。また、友達と協力し合って楽しみながら活動していました。とても立派です。生徒の皆さんが一つのことにむけて取り組むときの集中力の高さとエネルギーには感嘆せずにはいられません。

合唱祭と体育祭が大成功に終わりました。二つの行事に共通する目標は「人とのつながり」を深めることです。活動期間には、いろんなことがあったでしょう。「毎日が楽しいことばかりだった」と言える人はそうはいないと思います。時には意見が衝突したり、自分の思いが伝わらないもどかしさを味わったりした人もいることでしょう。それでも生徒の皆さんは経験を通して、仲間と協力しあうことの楽しさや大変さもすっかり学んでいます。

ノーベル化学賞を北川 進さんが受賞しました。北川さんは子供たちに伝えたい言葉として、記者会見で次のように語りました。

「子供たちには難しいかもしれないけど、ルイ・パスツールが『幸運は準備された心にのみ宿る』という名言を残しています。私の今の流れをみたときに、いい先生、友達、学会での付き合いに恵まれた。それは準備された心なんです。ある日突然宝くじを引いて当たったわけじゃない。いろんな経験を大切にしていくとそれが将来花開く、そう言いたいですね」

学校生活での様々な経験を大切にしてほしいと切に願っています。

## 令和7年度 11月行事予定

日	曜	校内行事	清掃
1	土		
2	日		
3	月	文化の日	
4	火	朝会 教育相談⑤	○
5	水	教育相談⑥	
6	木		
7	金	特別支援合同学習会（スポセン）1・2学年道徳講演会（6校時）	○
8	土		
9	日		
10	月	学習会	
11	火	学習会	○
12	水	期末テスト	
13	木	期末テスト	
14	金	期末テスト+学活 専門委員会（⑧11月）	○
15	土		
16	日		
17	月		
18	火		○
19	水		
20	木		
21	金	3年総合発表会（4～6校時）	○
22	土		
23	日	勤労感謝の日	
24	月	勤労感謝の日振替休日	
25	火	3年生のみ4校時授業で下校	○
26	水		
27	木	3年三者面談① 1・2学年面談①	
28	金	3年三者面談② 1・2学年面談②	○
29	土		
30	日		

授業日数 18 日

最終下校 11月 16：45